

4 企業会計

水道事業会計

水道事業収益の推移

(単位:千円)

項 目	平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 当初予算	平成30年度 当初予算	前年度増減
水道事業収益						
給水収益	9,040,602	8,969,423	8,934,742	8,649,359	8,759,802	110,443
分担金	300,084	315,526	403,735	225,161	241,818	16,657

工業用水道事業会計

工業用水道事業収益の推移

(単位:千円)

項 目	平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 当初予算	平成30年度 当初予算	前年度増減
工業用水道事業収益						
給水収益	1,316,447	1,324,127	1,320,653	1,310,467	※1,193,749	△ 116,718
共同施設管理収益	316,537	309,996	320,922	357,160	351,037	△ 6,123

※ 平成30年度より、責任水量制から二部料金制に移行

水道局

水道事業会計

- | | | |
|-----|---|-----------|
| (1) | 配水管の整備等 | 1,494,713 |
| | <p>①配水管整備工事 (1,696,697)</p> <p>水の安定供給を図るため、配水管を「重要度」「老朽度」「耐震性」の三つの観点から更新の優先順位を定め、配水管の布設替工事等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水本管整備
管径 300～500 mm 延長 2,390.0m ※ 基幹管路耐震化率 平成 30 年度見込み 47.9% (計画 47.1%) ・配水支管整備
管径 75～250 mm 延長 9,515.0m 合計 11,905.0m ・耐震性緊急貯水槽設計業務委託 <p>②鉛製給水管公道部取替工事</p> <p>漏水事故の主たる原因となる鉛製給水管の解消を目的として、従前の配水管工事や漏水修繕等に合わせた取替に加え、平成 24 年度から公道部に特化した取替工事を実施しており、平成 30 年度としては年間 561 箇所を予定している。</p> <p>※ 解消目標年度 平成 40 年度 (達成率 平成 30 年度見込み 約 45%)</p> | |
| (2) | 施設の再構築等 | 1,084,445 |
| | <p>災害に強い給水システムの構築等を図るため、浄水施設の整備を行う。 (327,839)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神崎浄水場 1～3 号配水池耐震化等改修工事 (平成 28～30 年度工事) ・神崎浄水場ろ過池 (電気・機械) 設備更新工事 (平成 30・31 年度工事) <p>債務負担行為 (30 年度提出分) 金額 558,038 千円</p> | |
| (3) | 次期ビジョン策定関係事業費 | 28,016 |
| 拡充 | <p>①公営企業審議会の運営等 (0)</p> <p>平成 32 年度からの事業運営の基本方針となる次期ビジョンの策定に向けて取り組むにあたり、公営企業審議会を設置するとともに、ビジョン策定支援の業務委託を行う。</p> <p>②施設整備計画の策定</p> <p>次期ビジョンの個別計画の一つとして、中長期的な視点に立脚し、施設の適正な維持管理による長寿命化を図りつつ適正規模での施設整備計画を策定するため、施設や管路の改築・更新に係る各種基礎資料作成の業務委託を行う。(平成 29・30 年度業務委託)</p> | |
| (4) | お客さま総合窓口関係事業費 | 160,711 |
| 新規 | <p>水道料金の徴収や給水装置工事などに関する窓口業務の委託範囲を拡大し、業務単位の個別委託を包括的な委託に変更することにより、事務の効率化等を図るとともに、水道局庁舎 1 階の改修工事を実施し、料金に関するお客さま対応の窓口を集約することにより、利便性の向上を図る。 (0)</p> <p>(平成 31 年 1 月実施予定、平成 30～35 年度業務委託)</p> <p>債務負担行為 (30 年度提出分) 金額 2,323,105 千円</p> | |

- | | | |
|-----|---|----------|
| (5) | 水道通水 100 周年記念事業費 | 14, 220 |
| 拡充 | 平成 30 年 10 月 1 日に水道通水 100 周年を迎えることから、本市水道の歴史を振り返るとともに、安全・安心な水道水を P R し、水道事業を後世に継承することを目的に貴重な節目の年を記念して各種事業を実施する。
・ 記念式典、神崎浄水場開放イベント、水道百年史の刊行等 | (8, 850) |

工業用水道事業会計

- | | | |
|-----|---|------------|
| (1) | 配水管の整備等 | 361, 558 |
| | ①配水管整備工事 | (596, 944) |
| | 水の安定供給を図るため、配水管を「重要度」「老朽度」「耐震性」の三つの観点から更新の優先順位を定め、配水管の布設替工事等を実施する。
管径 150～300 mm 延長 93.8m | |
| | ②既設管撤去工事 | |
| | 老朽管の更新に伴う既設配水管の撤去及び、移設に伴う既設導水管の撤去工事を行う。 | |
| | ※ 基幹管路耐震化率 平成 30 年度見込み 63.5% (計画 63.2%) | |
| (2) | 次期ビジョン策定関係事業費 | 27, 256 |
| 拡充 | ①公営企業審議会の運営等 | (0) |
| | 平成 32 年度からの事業運営の基本方針となる次期ビジョンの策定に向けて取り組むにあたり、公営企業審議会を設置するとともに、ビジョン策定支援の業務委託を行う。 | |
| | ②施設整備計画の策定 | |
| | 次期ビジョンに反映する基本計画として、中長期的な視点に立脚し、施設の適正な維持管理による長寿命化を図りつつ適正規模での施設整備計画を策定するため、施設や管路の改築・更新に係る各種基礎資料作成の業務委託を行う。(平成 29・30 年度業務委託) | |
| (3) | 工業用水道料金徴収業務委託関係事業費 | 841 |
| 新規 | 工業用水道料金の徴収業務について、お客様総合窓口の設置に併せて、計量業務に加えて料金の収納業務まで委託範囲を拡大し、包括的な業務委託に含める。(平成 30～35 年度業務委託) | (0) |
| | 債務負担行為 (30 年度提出分) 金額 16, 805 千円 | |